# じゃっど新聞

## NO.42 号

## 第 13 回定期総会の報告

発行日：2005.10.14
発行人：小幡　順子
発行所：じゃっど事務局
〒895-0054　鹿児島県薩摩川内市神田町
11-20　　若松記念病院内
TEL/FAX　0996-27-0193
e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp
http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/

カメラに最高の笑顔をくれた子供達☺☺☺☺

### NPO 法人“じゃっど”登録を終えて

会　長　小　幡　順　子

ここ鹿児島では，10 月だというのに暑い日が続きついにはアブラゼミの声が響く始末。みなさまのところには秋がやってきていますか？

ここ数年の課題であった NPO 法人登録も完了し，NPO 法人“じゃっど”として活動していくことになりました。これからは会員だけでなく，求められればすべての人にその活動や会計内容を報告する義務が生じたわけです。これまでお伝えしていたとおり，私たちの活動内容は変わりませんが責任が増したということになります。これからも会員の皆さんのご協力とご指導をもとに，ラオスの子どもたちの衛生環境を整えるべく事務局はじめ，みんなで頑張っていきたいと思います。

さて表紙写真は，今回のじゃっどツアーで訪れたビエンチャンにあるタット・ルアン寺前公園での一コマです。8 月はラオスの学校も夏休みです。近所の子どもたちでしょうか，元気に走り回っているところに「写真とっていい？（ターフー・ターボー）」と一言かけたところ，ごらんのような元気な笑顔を見せてくれました。この子どもたちの笑顔を見るためにラオスに出かけている私なのかなと思った一コマでした。

じゃっどツアー報告会も計画されています。みなさま是非ご参加ください。

# 第13回定期総会の報告

## 平成16年度事業報告

目標として「国内活動を活性化し、12年目でこれまでを見直し、新しい力を入れる。」としたが、十分な国内活動ができてはいない。絵本部、バザー部、NPO部が良く活動した。

**1．組織つくり**

NPO部：2005年8月初めに認証受けられる予定。ツアー前に登録可か。

絵本部：シャンティからラオス語訳シールとともに購入した。ラオス語に親しむ機会となる。

バザー部：売り上げ　144,980円

開発部：開発教育を目的としている。小・中学校及び鹿児島大学からの依頼に対し、講師・資料等を派遣送付した。

**2．“じゃっど”設立から12年（一巡り）記念事業**

①記念ツアーは2005年8月16日～8月20日に行う。

当初の予定7月26日～30日は、ASEAN外相会議ラオス開催と重なり、直前になって日程が変更となった。参加予定の方が参加できなくなり、申し訳ない。

②これまでの活動記録をまとめる。

「机イス募金」は、これまで作成した全ての机イス計　　組の写真を三枚のパネルにした。今後、“じゃっど”の広報時に利用したい。

**3．事業の実施に関する事項**

**3－1ビエンチャン**

紙芝居を増刷した。

2004年12月11日　教師を対象にした学校保健教育セミナー開催。

2004年12月12日　Nonhavai, Mouangnoi, Xiengda3校の計670名を対象に健康診断（寄生虫の駆虫薬投与、救急薬品の配布を含む）、文房具供与および健康教育。ラオス国立大学医学部生10名が紙芝居を使った保健指導をし、アナマイソング（じゃっどが作成した衛生の歌）の紹介を行った。

学校を訪問。自転車ポンプの故障が多く認められ、マイさんに同行していただき、全ての修理が終了した。

学校の建物の補強などに寄付。

2月25日　ボケオ、3月10日　ウドムサイ、3月20日　ビエンチャン、3月22日サニャブリとDr.Somchitが、“じゃっど”活動地域を回り、各県の保健局と学校保健活動状況について視察。彼女は現在、保健省（日本の厚生省に当たる）の母子保健部副部長（部長は政治家）である。また“じゃっど”により彼女は学校保健の専門家となった。彼女はボランティアとして“じゃっど”を行っているが、ラオス国での彼女の発言は影響力が大きくなってきている。じゃっどとしては、鬼に金棒である。益々活動しやすい環境になるであろう。

2004年4月1日　ラオス国　こどもの日　アナマイソングのコンテストを行い、優勝校を決定。順位に応じ、参加した学校へ賞金を出した。

**3－2ボケオ、サニャブリ**

資金を届けるのが遅くなり、活動実施が来年度にずれ込んでいる。

**3－3ウドムサイ**

平成15年度にウドムサイで行っていた活動のフオローアップ。Dr.SomchitがKIDSMILEのラオス側代表の一人なので視察に行きアドバイスすることができる。

# 平成16年度会計報告

1、収入の部

| | | |
|---|---|---|
| 前年度繰越 | 1,963,266 | |
| 会員会費 （2000×157 名・年） | 326,000 | |
| 寄付金 （個人寄付） | 588,198 | 1272415 |
| （団体寄付） | 684,217 | |
| 机、いす募金 | 222,500 | |
| バザー収入 | 144,980 | |
| 受取利息 | 16 | |
| 計 | 3,929,177 | |

2、支出の部

ラオス

| | | |
|---|---|---|
| ラオス活動費 | 2,066,000 | |
| 健康診断 | | 79,000 |
| ワークショップ | | 39,500 |
| Supervision | | 291,000 |
| 人件費 | | 780,000 |
| BOKEO | | 250,000 |
| Sayabouly | | 250,000 |
| 文房具 | | 144,500 |
| 学校建物補修（Nongkheng小学校） | | 70,000 |
| こどもの日活動 | | 50,000 |
| 机イス（SamKet） | | 72,000 |
| 教師育成(Saysetta郡教育局) | | 40,000 |
| 計 | 2,066,000 | |

国内

| | |
|---|---|
| 通信費 | 127,939 |
| 広報費 | 39,540 |
| 事務用品費 | 11,578 |
| 消耗品費 | 17,000 |
| 会議費 | 56,185 |
| 旅行交通費 | 4,000 |
| 諸会費 | 33,000 |
| 絵本に係る活動 | 102,000 |
| 雑費 | 3,705 |
| 計 | 394,947 |
| 支出合計 | 2,460,947 |
| 繰越 | 1,468,230 |

会計監査報告

平成16年7月1日～平成17年3月31日の期間のじゃっどの収支決算に関し、会計帳簿とその証拠書類及び関係書類を監査した結果、確かに相違ないと認めましたのでここに報告します。

平成17年7月5日 監事 安部良喜

# 平成17年度事業計画

ラオスでは、「発展的撤退」を最終目標に“じゃっど”がいなくても活動が継続されるためには、何が必要かを検討したい。図らずも、“じゃっど”ラオス代表は、ラオス国の学校保健の一任者となったので、活動しやすい反面責任も生ずる。

国内では、小幡順子新理事長のもと、昨年度に引き続き国内活動の活性化を目標にしたい。

**1．組織つくり**

NPO部：登録すみしだい、部は解散となる。
絵本部：継続。新会員を増やす窓口になる。
バザー部：ツアーで物品を仕入れる。開発部と協力して各種イベントに積極的に参加し、広報活動とともに販売する。
開発部：積極的広報を検討。
広報部：引き続きじゃっど新聞発行を中心とした活動

**2．じゃっど設立から12年（一巡り）記念事業**

①記念ツアー2005年８月１６日～８月２０日

机に募金者の名前をツアー参加者がラオス語で記入する。

②これまでの活動記録をまとめる。　資料を整理中。

| | | |
|---|---|---|
| 16 | 火 | 鹿児島－福岡－バンコクーウドンタニービエンチャン |
| 17 | 水 | 学校訪問(市内) 視察と机に記名、子供たちとの交流 |
| 18 | 木 | 村訪問　視察と、机に記名、村人との交流 |
| 19 | 金 | NGO訪問、ビエンチャンーウドンタニーバンコク発 |
| 20 | 土 | 福岡－鹿児島 |

**3．事業の実施に関する事項**

**3－1ビエンチャン**

紙芝居と本を増刷し、アナマイソングとあわせて普及を進める。

教師を対象にした学校保健教育セミナー開催。健康診断（寄生虫の駆虫薬投与、救急薬品の配布を含む）、文房具供与および健康教育。

こどもの日のアナマイソングコンテストを実施。

学校を訪問し助言する。Supervisionと“じゃっど”ラオスは表現しているが、国際保健の分野では、最近重要視されている事である。継続のために重要である。視察後に視察する側、される側双方にレアクション必要あり、マイさんによる自転車ポンプ修理が継続できるかをラオス訪問時に話し合う予定。

**3－2ボケオ、サニャブリ**

活動実施を見届ける。

**3－3ウドムサイ**

ウドムサイでの活動は終了したい。

## フレイクタイム

**ラオスVS日本(どれくらい、ちがう？)**

| | ラオス | VS | 日本 |
|---|---|---|---|
| ★道路舗装率 | 23.8％ | | 78.1％ |
| ★識字率 | 61.8% | | 100% |
| ★小学校進学率 | 71% | | 100% |
| ★医師一人当たり人口 | 1,603人 | | 525人 |
| ★PC普及率(1,000人当たり) | 2.3台 | | 287台 |
| ★携帯電話普及率(1,000人当たり) | 1.7台 | | 449台 |
| ★テレビ普及率(1,000人当たり) | 10台 | | 719台 |
| ★14歳以下の人口比 | 45% | | 16% |
| ★出生率（1000人当たり） | 36.5人 | | 9.5人 |
| ★死亡率（1000人当たり） | 13.1人 | | 7.7人 |
| ★乳児死亡率（1000人当たり） | 91.0人 | | 3.4人 |
| ★平均寿命（男/女） | 53.0/55.0歳 | | 77.6/84.6歳 |

*出典：Britanica International Yearsbook2002

＊3年前の集計なので、通信関係の数字は両国とも、現在はもっと伸びているかもしれないですね

**さて、皆様のご感想は？**

# 平成17年度会計予算

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1、収入の部 | 前年度繰越 | | | | 1,468,230 |
| | 会員会費 (2000×157 名・年) | | | | 300,000 |
| | 寄付金 (個人寄付) | | | | 100,000 |
| | (団体寄付) | | | | 100,000 |
| | 机、いす募金 | | | | 200,000 |
| | バザー収入 | | | | 150,000 |
| | 計 | | | | 2,318,230 |
| 2、支出の部 | | | | | |
| | ラオス活動費 | | | | |
| | Supervision | | | | 120,000 |
| | 学校保健事業 | | | | |
| | 教材作成 | | | | 500,000 |
| | V セミナー | | | | 50,000 |
| | V 健康診断 | 20,000 | 4校 | | 80,000 |
| | V 文房具等 | 300 | | 1000 | 300,000 |
| | 学校設備充実事業 | | | | |
| | 机イス整備 | | | | 200,000 |
| | 建物補修・トイレ井戸水道 | | | | 500,000 |
| | 普及・啓発活動 | こどもの日活動 | | | 50,000 |
| | 旅費 | | | | 50,000 |
| | 計 | | | | 1,850,000 |
| 国内 | 絵本 | | | | 100,000 |
| | 普及・啓発事業 | | | | 33,000 |
| | 通信・広報費 | | | | 150,000 |
| | 事務・消耗品費 | | | | 40,000 |
| | 会議費 | | | | 20,000 |
| | 法人税等 | | | | 10,000 |
| | パネル等 | | | | 50,000 |
| | 雑費 | | | | 65,230 |
| | 計 | | | | 468,230 |
| | 支出合計 | | | | 2,318,230 |

読売新聞　　2005年　平成17年9月22日

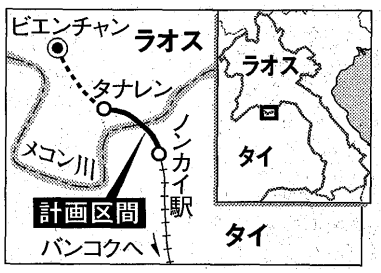
# ラオスに鉄道建設へ

## タイが援助　経済発展に期待

鉄道のないラオスと隣国タイを結ぶ国際鉄道の建設構想が動き出した。実現すれば第2次大戦後、ラオス初の鉄道となる。まず12・5キロの区間でスタートするが、将来は経済成長が続くインドシナ半島と中国南部を結ぶ大動脈に育て、自国の発展につなげようとラオスの経済関係者たちは期待している。（ビエンチャンで、中谷和義、写真も）

ラオスにはフランス植民地時代、今のカンボジア国境近くのメコン下流域に敷かれた最初の鉄道が存在した。メコン航路の滝を避けるための輸送ルートで、わずか6・5キロの狭軌だった。だが、この鉄道は第2次大戦末期に日本軍によって廃止された。

タイへつながる鉄道構想が最初に持ち上がったのは10年以上前。メコン川沿いの国境の町タナレンとタイ国境の向こう側のノンカイを結ぶ長さ1200㍍の「友好橋」が1994年に完成した際には、橋の中央部に単線の線路を敷くためのスペースが確保されていた。




橋の中央地点にあるラオス―タイ国境のタイ側には、線路も敷かれている。だが、97年のアジア通貨危機で計画の見直しが始まり、99年に両国政府が計画の一時中止を決めた。

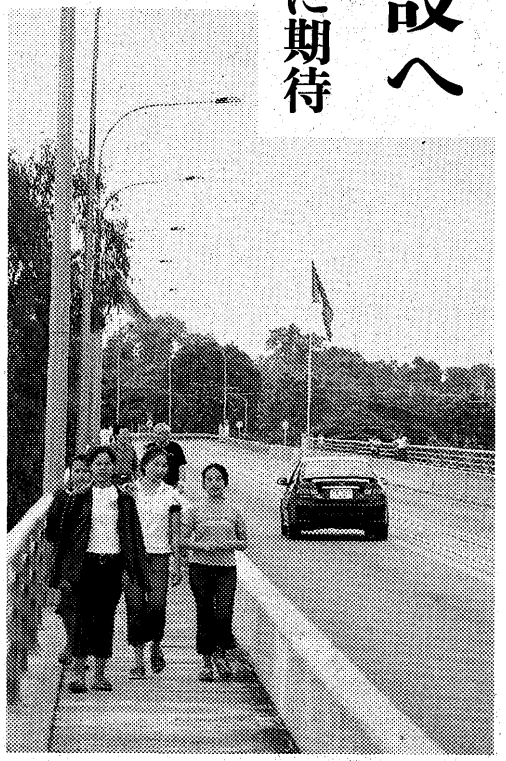
今回の計画は、この線路を延ばす構想。タイ政府が6月、友好橋を通ってタナレンとノンカイ駅を結ぶ12・5キロの区間の建設計画について2億㍍（約5億4000万円）の資金援助を申し出て計画が始動した。

この区間を2007年5月までに完成させ、その後タナレンから首都ビエンチャンまでの9キロの区間の線路敷設に着手する。鉄道局のソネサク・ナンサナ副局長は、「いずれは北の中国国境にまで路線を延ばしたい」と夢を語る。

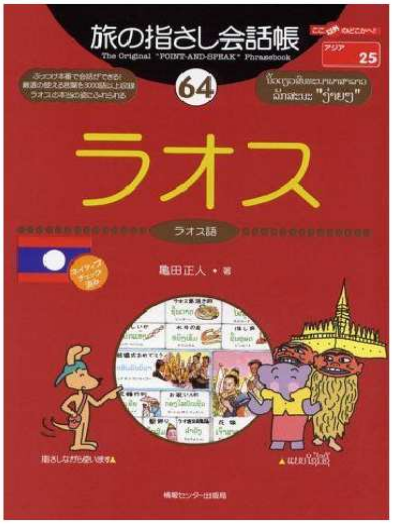
ラオス側の経済上の期待は大きい。鉄道局の試算では、2012年ごろまでに、ラオスに入る旅客は年8%、貨物は6%の割合で増える。特に外国投資の4割以上を占めるタイとの交流は確実に拡大する。「バスとトラック頼みでは限界がある。大量輸送に適した鉄道の出番だ」と、ソネサク副局長は力を込める。

タイ側にも思惑がある。ラオス経由で中国との結びつきを強めようとの経済的な動機に加え、東南アジア諸国連合（ASEAN）の盟主を自任する立場からラオスに対するベトナムの圧倒的な影響力を薄めたいとの思惑も見え隠れする。

それを裏付けるように、タイ外務省のシハサク・プアンケトコー報道官は「鉄道計画はラオスとの間の最優先課題」と強調している。



ラオスとタイ国境にかかる友好橋。この上に線路が敷設される




## 本の紹介

**便利な本が出版されました**
**ずばり「旅の指さし会話帳　ラオス」です。**
**この本と、電卓さえあれば買い物もバッチリ！！**

書籍データ
単行本: 128 p ; サイズ(cm): 21
出版社: 情報センター出版局
著者
亀田 正人

## 【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2005年6月～2005年9月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました。（以下敬称略）

■　新規会員（2005年6月～9月）

石川佳奈　清川照美（鹿児島市）木場貞成(神奈川県)

高坂紀子（出水郡）芝田澄子（大阪府）

■平成17年度会費（2005年6月～2005年9月）古川孝子、神埼侯至、安永健次郎、村上直子、杉元悦子、瀬戸山弘子、岩月洋孝、岩月たち子、大山信子、上野昌子、上床久子、上床聖子、愛甲明実、内田耕也、高坂紀子、関隆子、外園龍子、川田篤子、松下忠洋、松下章子、川畑善照、南修、田中律子、古田宣稔、伊東ひとみ、柴こうこ、宮脇美智子、永山ゆかり、山下矣礎子、増岡淳子、牧田弘子、安部良宣、牛ノ浜妙子、新原千穂子、安藤ツギエ、矢野千鶴子、山本澄子、本田文男、高橋清輝、松元邦明、橋口知章、橋口正美、愛甲勝、木場吉彦、下尾崎健一、田中英世、辛島芳子、小城順子、今村久美子、庵地紘一、橋口喜久、帖佐理子、森卓朗、土川京子、矢野信之、湯之谷千恵子、小倉邦子、渡辺裕子、三本釈世、（薩摩川内市）隈元郁子、増田隆信、（姶良郡）桑原美智子、石川佳奈、久木田泰子、鹿島友義、南武嗣　、馬場寛利、清川照美、野呂忠秀、馬場ナオミ、（鹿児島市）高橋真弓、尻無浜むつみ、有川清猛、（串木野市）高橋栄子、松元力、松本貞治、宇津木和夫、国田宏、木場眞一、大熊京子、堀内恵子、帖佐徹、高野真綾、和地平十郎、宇津木和子、小林義郎、宇田川国男、長崎綾子（東京都）鈴木琴子（茨城県）熊谷銀次郎（兵庫県）斉藤洋史、森田由夫（埼玉県）中馬美智、帖佐秀人、川添智恵、小幡順子（日置郡）、鮫島久志、鮫島節子、藤井洋（千葉県）、山内京子、吉田いつこ（広島県）西睦夫、橋本晴美、岩崎岩男、横林宙世（福岡県）木場貞成、宇井豊、望月明子（神奈川県）藤島美由紀、サイヤ・キエンペット（愛知県）塩川恵美子（静岡県）上原憲一、高坂紀子（出水郡）瀬筒勝二（鹿屋市）田邊ツル子（揖宿郡）、柴田澄子、中村安秀、鈴木忠夫（大阪府）中村武、川添恵（佐賀県）鎌田到（北海道）高木史江（富山県）前原よし、鳥山信子（千葉県）中村律子（出水市）松永武志（阿久根市）金田英子（長崎県）

■寄付金（2005年6月～2005年9月）

帖佐朝子（薩摩川内市）松元力（東京都）吉田いつこ（広島県）、神田通り振興会チャリティーコンサート、オジロテックバンド、若原信子（鹿児島市）

■大口寄付金（2005年6月～2005年9月）

早瀬紀子45000円(薩摩川内市)　松山容子30000円(東京都)

■　机、いす募金（2005年6月～2005年9月）

峰山小学校、安部良宣、帖佐朝子、鹿児島銀行川内市支店、早瀬紀子、田中英世、児玉千代子、村役場、オジロティックバンド（薩摩川内市）、石躍大士、清川照美、柳本義信、網岡英司、坂上恵子（鹿児島市）中村律子（出水市）小幡好照（鹿屋市）木場貞成（神奈川県）青木裕司（福岡県）

■　机イス写真現像、名刺作成　神崎侯至（ACTIVE）

■　委託販売　仮屋洋子(CUIR　HAIR)

■　新聞作成　神崎侯至、宮脇美智子、高橋真弓

【お詫び】　じゃっど新聞41号、平成17年度会費分にお名前の漏れがありましたので、当号に記載いたしました。古川孝子様、神崎侯至様　謹んでお詫び申し上げます。

## 【国内活動】

6月18日～6月26日　県内国交流団体紹介パネル展示会（柴こうこ、小坂ひとみ）

7月9日(土)　定期総会

7月23日(日)　祇園祭り　バザー参加（松永佳代子、古田理事、増岡淳子、帖佐事務局長）

8月5日(金)　特定非営利活動団体として、認証される！

8月16日～20日　12周年記念スタディツアー

8月21日(日)　かっぱ市チャリティコンサート　バザー（古田理事、帖佐事務局長、上三垣かおり、柴こうこ）

8月27日（土）　九州電力講演　サンロイヤルホテル（小幡理事長）

9月3日(土)　バザー用品値付け　（宇都弘子、小坂ひとみ、伊東ひとみ、柴こうこ、増岡淳子、小幡理事長、宮脇美智子）

9月9日(金)　地球市民フォーラム準備委員会（小幡理事長）

## 【会費についてのお知らせ】

今回発行新聞分から、封筒の宛名シールに、頂いている会費の期限を記載いたしました。以前から、「いつまで払ったか」「当期分を払ったかどうか」のお問い合わせ等がありましたので、これでご確認いただけると思います。訂正、ご質問等ありましたら、事務局までお問い合わせください。

引き続きじゃっどをご支援くださいますようよろしくお願い致します。

（会費は9月30日現在ですのでご了承ください）

# じゃっど INFORMATION

## ★ボランティア募集中！

**下記の日程でバザーに参加しますので、お手伝いできる方、お知らせください**

☆ **10月22日(土)～23日(日)**

**10：00～16：00（マリア像近く）**

空いている時間を2時間程度でかまいません。
先日ラオスから仕入れた雑貨がわんさかあります。
お手伝いは無理でも、どうぞ、お越し下さい！

## ★絵本回収中

先日からお願いしていました、ラオス語のシールを貼っていただいた絵本をそろそろ、回収したいと思います。
お手伝い頂いた方で、まだ手元にお持ちの方は、事務局までお持ちください。(ついでがある時で結構です)

## ★特定非営利活動法人に認証される！

8月5日、NPO法人に認証され、8月16日登記完了しましたことをご報告いたします。

## ★ 机いす募金、会費、ご寄付

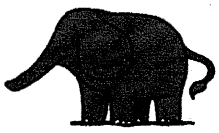
の、お振込は　下記までよろしくお願いたします。

**郵便局　02050-2-4746**
**口座名　じゃっど**　ご支援よろしくお願い致します。

## ★スタディツアー報告会のお知らせ

平成17年8月16日～20日まで、ラオスを視察訪問してきました。活動対象校の視察、村の様子など今回のツアーに参加してくださった5名の方が、見て、触れて、感じたことなどを報告してもらいます。どなたでも、ご参加ください！そして、あなたの一言が、次の活動につながります。

報告者　石川　佳奈（小学校教諭）
　　限元　郁子(介護認定委員)
　　神崎　侯至（会社社長）
　　帖佐　理子(じゃっど理事　医師)
　　小幡　順子(じゃっど理事長　栄養士)



**場所:すこやかふれあいプラザ(　2F第2会議室)　TEL0996-22-8811**
**日時:平成17年11月19日(土)　　14:00～16:00**

## ☺☺☺☺ 編集後記 ☺☺☺☺

☺ 帖佐先生より頂いた、お土産のプリッツ(タイ風ピリ辛サラダ・ラーブ)を　つい食べてしまいました。とても美味しかったのですが・・・・(懺悔)じつは子供たちへのお土産だったのです・・・・すみません大人気ないナ　　(KAMI)

☺何気なく手にした「婦人画法」10月号に、古都ルアンパバーン(世界遺産)の目抜き通りに毎晩屋台や工芸品、骨董品の露店が延々と並ぶ風景がありました。ツアーの参加者が毎年仕入れてくるスカーフや小物が並んでいて、ラオスの人々の手作りの思いが伝わってくるような気がしました。(MIYA)　　(はいぶりっじ↓)

☺ 初めて、川内大綱引きを見に行きました。すごい人人人・・・・でも、やっぱり私は、人ごみが大好きなことに気づいた夜でした。